



財務ワーキング・グループ

政策提言書提出に向けて

PSI東アジア事務所

青葉 博雄

3WGsの財務WGへの再編



- C20 2020までの「国際財政構造」「インフラ」および「貿易・投資」の3WGsを財務WGに再編
- 全体コーディネーターおよびセグメント毎の担当者
 - Patricia Miranda (Latindadd) , Stefano Prato (SID)
 - 国際財政構造：Patricia, Stefano
 - インフラ・ファイナンス： Maria José Romero (Eurodad)
 - サステナブル・ファイナンス: Myriam Vander Stichele (SOMO), Artemisa Montes Sylvan (OMEC) , Stefano
 - 貿易および投資： Monica di Sisto (Fairwatch)

1. 国際財政構造

➤ 昨年の政策提言をベースに下記の作業を行う。

- 短期的な対策と長期的な改革の中身の再検証
- IMFによる6,500億ドルの特別引出権 (SDR) 新規一般配分の妥当性の検証および再配分メカニズム・追加配分についての検討
- G20およびパリクラブの債務支払猶予イニシアティブ後の債務措置に係る共通枠組および新たなイニシアティブの必要性に関する検証
- G7における議論等、最新の動向に注意し、税の問題に関する提言内容の再検討（例：富裕税導入の重要性へのさらに強い言及）
- 譲許的資金提供および金融取引税導入に関する検討
- アセットマネジメント業界に対する金融規制に関するより野心的な政策要求の検討

2. インフラ・ファイナンス



- 開発途上国が必要とするインフラ・ファイナンスの実現には、次の3つの基本政策が重要
- インフラの質と持続性の向上 / 社会、環境、ガバナンスへの考慮、およびG20の「質の高いインフラ投資のための原則」の実質的運用
 - 公的資金によるインフラの拡大（特に社会的セクター） / 社会的公平性という点から公共による介入が不可欠な分野や、社会的リターンが民間のリターンよりもはるかに大きい分野での公共投資の重要性は高い。
 - インフラのための民間資金投入の促進には慎重なアプローチが必要 / 民主的に決定された政策の優先順位に従い、市民のニーズに応え、高い水準のガバナンスの下、透明性、説明責任、地域社会や女性グループを含む幅広いステークホルダーの決定への参加が担保されること

3. サステナブル・ファイナンス



- 新たに取り上げる分野であり、これまでの政策提言をベースにすることが難しい。
- 他のWG（特に気候、生物多様性、エコロジカル・トランジションなどを扱うWG）との調整が必要になる。
- アジェンダの設定およびロードマップ策定における主要原則の提案を行う。

4. 貿易および投資

➤ 政策的優先順位

- G20：開放性、透明性、公正性、持続可能性
- C20：持続可能性、公平性、透明性、雇用創出

➤ 持続可能な開発のための多国間貿易・投資アジェンダ

- 多国間、二国間の貿易・投資協定、特に南北間の協定においては、人権、労働、環境への影響評価を義務づけ、持続可能な開発のための権利および食料、健康、生活に関する具体的な権利に焦点を当てる必要がある。
- サービス貿易の漸進的自由化が貧困層の必須サービス（水、保健、教育など）へのアクセスに悪影響を及ぼす可能性への留意

- 各国の産業生産能力と組織を、環境、労働者、消費者にとって持続可能なものにする。
- 域内市場との連携を強め、域外市場への依存度を低くし、グローバルなものを含む域外からのショックによる影響を受けにくくする必要がある。
- 貿易における環境の持続可能性の確保（例：再生可能エネルギーや循環型経済に関連するデジタル技術やグリーン技術のイノベーションを奨励し、そのアクセスを拡大するためには、知的財産権の保護と技術移転に関するルールのバランスの見直しを図る必要がある。）